資料－２

２．流域治水プロジェクト2.0について

流域治水プロジェクト2.0

～気候変動下で水害と共生する社会をデザインする～

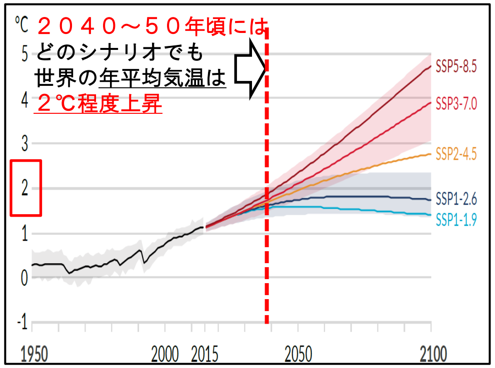
R6.3更新（2.0策定）

■現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算。
  現行の治水対策が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの関心の高まりに伴い治水機能以外の多面的な機能も考慮する必要
- インフラDX等の技術の進展

■流域治水プロジェクト更新の方向性

- 気候変動を踏まえた治水計画に見直すとともに、流域対策の目標を定め、あらゆる関係者による流域対策の充実
- 対策の“量”、“質”、“手段”の強化により早期に防災・減災を実現
- 気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を『流域治水プロジェクト2.0』として、全国１０９水系で順次更新し、流域関係者で共有

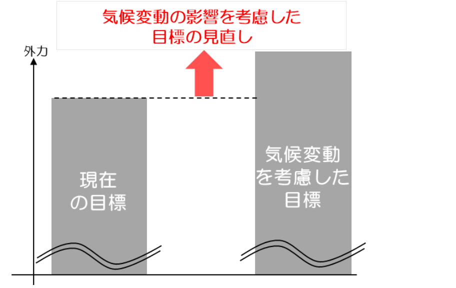


気候変動シナリオ	降雨量（河川整備の基本とする洪水規模）
２℃上昇相当	約１．１倍

降雨量が約１．１倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約１．２倍	約２倍

※流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は一級水系の河川整備の基本とする洪水規模（1/100～1/200）の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



河川整備計画等についても、気候変動を踏まえ安全度を維持するための目標外力の引き上げが必要

■流域治水２.０のフレームワーク　～気候変動下で水害と共生するための３つの強化～

“量”の強化

- 気候変動を踏まえた治水計画への見直し（２℃上昇下でも目標安全度維持）
- 流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進
- あらゆる治水対策の総動員

“質”の強化

- 溢れることも考慮した減災対策の推進
- 多面的機能を活用した治水対策の推進

“手段”の強化

- 既存ストックの徹底活用
- 民間資金等の活用
- インフラDX等の新技術の活用

水害から命を守り、豊かな暮らしの実現に向けた流域治水国民運動

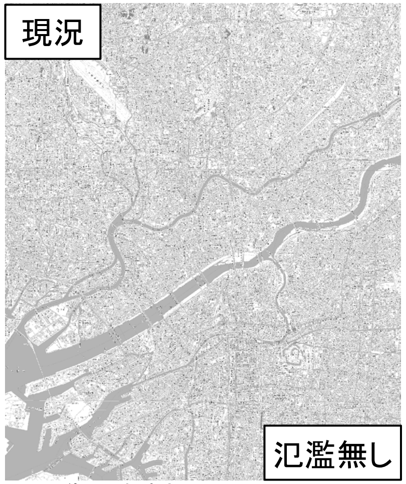
気候変動に伴う水害リスクの増大

R6.3更新（2.0策定）

〇気候変動による降雨量増加後の河川整備計画目標洪水が発生した場合、淀川流域（大阪府）では浸水被害は発生しない。
（淀川水系河川整備計画はR3.8に、気候変動による降雨量増加を考慮して変更済み）

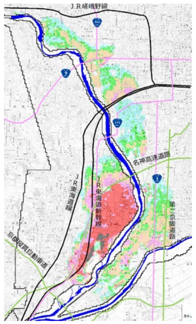
■気候変動に伴う水害リスク

国管理区間からの外水氾濫による浸水範囲・浸水家屋数



河道：R2末時点
外力：現行河川整備計画の目標流量（気候変動考慮）

＜現状・気候変動考慮＞



＜参考＞上流（桂川）の浸水範囲

河道：R2末時点
外力：
桂川　平成25年台風18号洪水
宇治川　平成25年台風18号洪水
木津川　昭和28年台風13号の降雨量1.1倍以上の洪水

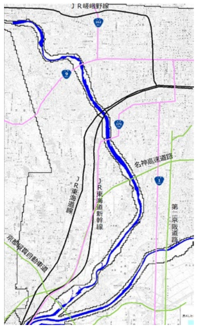
【目標①】
KPI：浸水家屋数
0戸 ⇒ 0戸

対策後

※上流改修を実施した場合においても現況の治水安全度を堅持するため、必要な対策を実施することで浸水被害は発生しない。

河道：整備計画完了時点
外力：現行河川整備計画の目標流量（気候変動考慮）

＜対策後＞



＜参考＞上流（桂川）の浸水範囲

河道：整備計画完了時点
外力：
桂川　平成25年台風18号洪水
宇治川　平成25年台風18号洪水
木津川　昭和28年台風13号の降雨量1.1倍以上の洪水

■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の整備計画目標洪水に対する安全の確保

淀川本川：0.0k～37.0k

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	国	計画規模洪水を安全に流下させる	河道掘削（淀川）：240万m^3 橋梁架替	概ね30年
被害対象を減らす	大阪府	土砂災害の危険から住宅を守る	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	概ね20～30年
	高槻市 枚方市 八尾市	水害リスクを踏まえたまちづくり及び居住誘導区域内の防災・減災対策による居住者の命を守る	立地適正化計画の見直し及び防災指針の策定 計画等に基づく対策の実施	－
被害の軽減・早期復旧・復興	国	土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討	多段階の浸水想定図（浸水頻度毎の浸水深図）及び水害リスクマップ（浸水深毎の浸水頻度）の整備	－
	淀川（大阪府域）分会 全18市町	円滑かつ迅速な避難の確保	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と、避難訓練実施支援	

【目標②】特定都市河川（寝屋川）流域において1/30規模降雨の洪水・1/10雨水出水による浸水被害を防止

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	大阪府	洪水を安全に流下させる	地下河川、流域調整池、遊水池、河川整備等	概ね20年～30年
	寝屋川流域市（12市）	浸水の防止・軽減	雨水貯留浸透施設等の整備	
被害対象を減らす	大阪府	貯留機能の保全 新たな住居に対し、立地を規制する 居住者の人命を守る	貯留機能保全区域、浸水被害防止区域等の指定 （流域水害対策計画の変更）	－

【目標③】高槻市における内水被害の軽減（下水道計画規模降雨以上の雨水出水による浸水被害を軽減）

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	高槻市（下水道）	重点地区（市内の浸水多発地区）の浸水被害の最小化	雨水貯留浸透施設整備 雨水幹線整備	概ね10年

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川(大阪府域)分会【位置図】

～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

R6.3更新（2.0策定）

○令和3年8月に淀川水系河川整備計画を変更し、淀川水系の大阪府域では、気候変動を考慮（雨量1.1倍）し、頻繁する豪雨に対して、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模 の洪水を安全に流下させることを目指す。

○これまで、平成25年台風18号等による被害をふまえ、平成21年に策定した河川整備計画に位置づけたメニューを大幅に進捗してきたが、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法（以下、「法」）の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。

赤字黄色ハッチ：流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

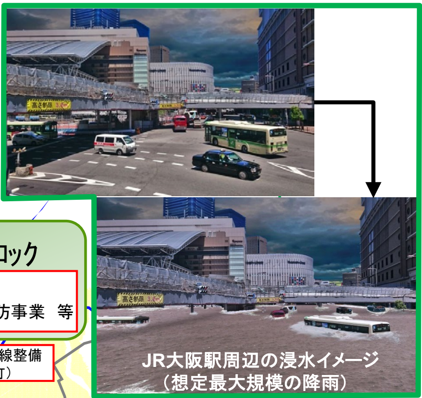
※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

凡例　灰色着色：対策完了

- 堤防整備・河道掘削等
- 雨水幹線、貯留浸透施設等
- 砂防事業
- ポンプ場の増強等
- 拡充された治水対策

リスクマップ凡例（現況・浸水深0.5m以上）想定される浸水範囲

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 中低頻度（1/100）
- 低頻度（1/150）
- 想定最大規模


JR大阪駅周辺の浸水イメージ（想定最大規模の降雨）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 高規格堤防整備、築堤、堤防強化　・河道拡幅・掘削、橋梁架替
- 護岸、落差工改築・撤去　・砂防事業、森林整備及び保全
- 閘門新設、水門改築、施設耐震補強　・高架橋緊急避難場所確保
- 河川防災拠点整備、河川防災ステーション整備
- ダム建設、ダムの堆砂除去　・事前放流等の実施・体制構築
- 地下河川、流域調節池、遊水地
- 下水道等の排水施設整備・改修・修繕・更新
- 雨水貯留浸透施設の整備　・ため池の治水活用
- 法指定による雨水浸透阻害行為の規制、貯留機能保全区域の指定
- 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成　等

■被害対象を減少させるための対策
- 土地利用誘導　・水害リスクマップの作成
- 開発行為に対する流出抑制対策指導
- 法指定による浸水被害防止区域の指定　等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 洪水ハザードマップ作成・更新　・ため池ハザードマップ作成
- 防災教育・啓発活動等の推進　・分かりやすい防災気象情報の提供
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
- タイムラインの作成・運用　・広域避難計画策定
- 舟運による早期復旧等　・粘り強い河川堤防の検討
- VR・AR等を用いた情報発信　・三次元河川管内図の整備
- 排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化
- マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援　・ホットライン構築
- 水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
- 河川防災ステーションの平時利活用の推進
- ゲリラ豪雨対策広域アクションプランに基づく適応策推進
- BIM/CIMなどの適用による三次元モデルの積極的な活用　等

雨水幹線 事例（東大阪市）

雨水貯留施設 事例（高槻市）

JR島本駅
まるごとまちごとハザードマップ

寝屋川流域水害対策計画変更のロードマップ

対策区分	流域関係者	工程			
		R5~R7	R8	R9~	R16
流域水害対策計画の変更	大阪府関係市町等	計画検討	計画変更	浸水被害対策の実施（区域の指定）	

※浸水リスクを示す浸水範囲については、リスクマップを公表している淀川河川事務所管理区間のみを表示している。

※〇〇川 は、府・政令市管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。

※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。

※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川（大阪府域）分会

R6.3更新（2.0策定）

	氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
“量”の強化	〇気候変動を踏まえた治水計画への見直し ＜具体の取組＞ ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくハード対策 〇流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 ＜具体の取組＞ ・流域水害対策計画に基づくハード対策 〇あらゆる治水対策の総動員 ＜具体の取組＞ ・寝屋川流域での地下河川及び大規模下水道幹線整備 ・流域全体における雨水貯留管や合流管渠、公共下水道施設等の雨水幹線整備・増強また、公園や駅等の地下貯留施設やため池等の雨水貯留浸透施設の整備 ・雨水ポンプ場の整備・増強・保全 ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成	〇溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・高規格堤防 ・高台まちづくり	〇気候変動を踏まえた治水計画への見直し ＜具体の取組＞ ・気候変動を考慮した河川整備計画に基づくソフト対策 〇流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 ＜具体の取組＞ ・流域水害対策計画に基づくソフト対策
“質”の強化	〇溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・貯留機能保全区域の指定	〇溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・土地利用や住まい方の工夫 ・浸水被害防止区域の指定	〇溢れることも考慮した減災対策の推進 ＜具体の取組＞ ・粘り強い河川堤防の検討 〇多面的機能を活用した治水対策の推進 ＜具体の取組＞ ・河川防災ステーションの整備及び平時利活用の推進 ・陸上交通網の麻痺に備えた緊急用船着場整備や大堰閘門整備による舟運での早期復旧
“手段”の強化	－	－	〇インフラDX等の新技術の活用 ＜具体の取組＞ ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用 ・三次元河川管内図の整備 ・排水機場等の遠隔監視・操作化、自動化

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川(大阪府域)分会【位置図】

～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

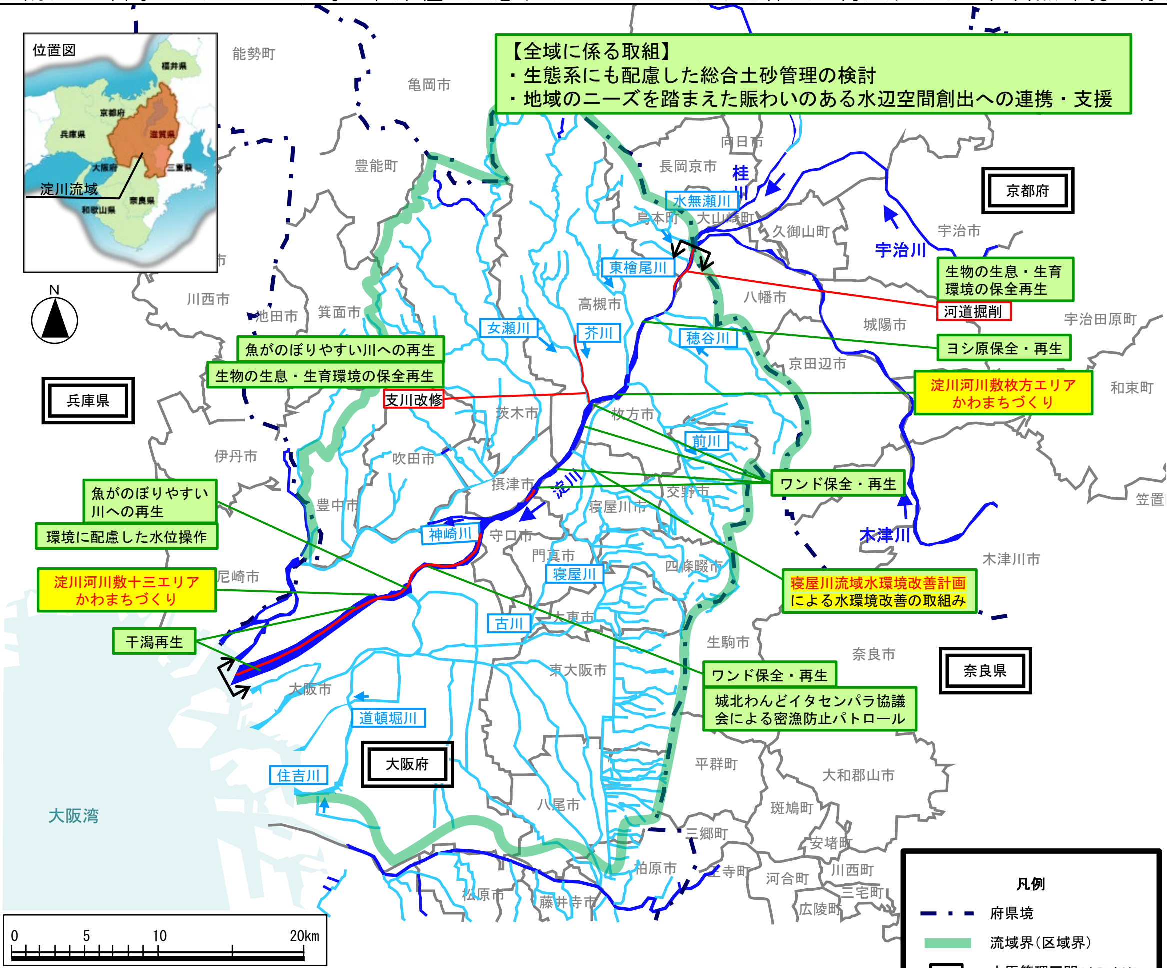
R6.3更新（2.0策定）

●グリーンインフラの取り組み　『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生 』

赤字黄色ハッチ：流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

〇三川合流点より下流の淀川では、鵜殿に代表されるヨシ原、寄り洲、ワンド・たまりや干潟などの環境に応じて、イタセンパラをはじめとする魚介類、オオヨシキリや猛禽類などの鳥類、塩性植物など、多くの動植物が見られる。こうした次世代に引き継ぐべき多様な生態系を守ろうとする住民活動も活発である。

〇水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後、概ね20年間でイタセンパラ等の在来種が生息するワンド・たまりを保全・再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

凡例
- 府県境
- 流域界（区域界）
- 大臣管理区間（大阪府域）
- Gインフラメニュー
- 治水メニュー
- 堤防整備・河道掘削等

●自然環境の保全・復元などの自然再生
干潟再生、ヨシ原保全・再生、ワンド保全・再生

●治水対策における多自然川づくり
生物の生息・生育環境の保全再生、魚がのぼりやすい川への再生

●魅力ある水辺空間・賑わい創出
淀川河川敷十三エリアかわまちづくり、淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- 淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
- 河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
- 小中学校における河川環境学習の実施
- 住民団体と連携した水生生物調査の実施
- 城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール
- 住民と連携した外来生物駆除
- 環境に配慮した水位操作
- 寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み
- 公園等賑わいの場としての活用
- 街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入

淀川河川敷十三エリアかわまちづくり　事業者作成イメージ

淀川のシンボルフィッシュ
イタセンパラ

市民ネットワークによる外来魚駆除

ワンドの再生（城北地区）

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

R6.3更新（2.0策定）

● 淀川（大阪府域）では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
　大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。
【短　期】計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備等と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設等の整備を推進する。また、淀川大堰閘門を整備することで災害時の避難や資材運搬など危機管理機能の強化を図る。安威川ダムを完成させることにより、神崎川流域の安全度向上を図る。
【中　期】計画規模洪水を安全に流下させるため、阪神なんば線淀川橋梁の架替を完了させるとともに、河道掘削、堤防整備等を推進する。
【長　期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河道掘削、堤防整備等と併せて流出抑制対策等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

赤字黄色ハッチ：流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

区分	主な対策内容	実施主体	工程（短期・中期・長期）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁架替 河川防災ステーション	大阪府、大阪市、摂津市、 淀川河川事務所	短期～長期
	地震・津波、高潮対策、閘門新設	大阪府、大阪市 淀川河川事務所	短期～長期
	ダム建設	大阪府、淀川ダム統合管理事務所、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所、水資源機構	短期～長期
	砂防事業、森林整備・保全	大阪府、高槻市、枚方市	短期～長期
	雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、 下水道施設増強、耐水化	大阪府、大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、茨木市、寝屋川市、柏原市、藤井寺市、東大阪市、島本町、四條畷市	短期～長期
	排水施設整備、改修、修繕、更新	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川市、門真市、東大阪市 、大東市　等	短期～長期
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画・居住誘導	高槻市、枚方市 、八尾市　等	短期～長期
	家屋の耐水化啓発	高槻市　等	短期～長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画策定支援	大阪市、高槻市、枚方市、摂津市　等	短期～長期
	ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練　等	大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、摂津市、藤井寺市、東大阪市、島本町 、八尾市　等	短期～長期
	防災気象情報の改善	大阪管区気象台	短期～長期
	広域アクションプラン（ゲリラ豪雨対策）	環境省、大阪府　等	短期～長期
グリーンインフラの取組	※詳細は次ページ		

工程上の記載事項：
- 堤防整備、河道掘削、橋梁架替／河川防災ステーション：なんば線橋梁架替完成（淀川河川事務所）、水門強靱化完成（大阪市）（R4完）
- 地震・津波、高潮対策、閘門新設：淀川大堰閘門新設完成（淀川河川事務所）、3大水門改築完成（大阪府）
- ダム建設：天ヶ瀬ダム再開発完成（琵琶湖河川事務所）、川上ダム完成（水資源機構）、安威川ダム完成（大阪府）
- 雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、下水道施設増強、耐水化：
  - ・大隅十八条幹線・此花下水処理場ポンプ場完成（大阪市）　・楠葉排水区雨水貯留管等整備完成（枚方市）
  - ・中の島・片山工区雨水レベルアップ整備完成（吹田市）　・新岸田堂幹線完成（東大阪市）
  - ・JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成（高槻市）（R4完）
  - 新設ポンプ棟設置等完成（守口市）
  - ・合流管渠整備（柏原西排水区）完成（柏原市）
  - ・山崎雨水幹線完成（島本町）
  - バイパス管整備一部完成（東大阪市）
  - 門真守口増補幹線完成（大阪府）
- 排水施設整備、改修、修繕、更新：高宮ポンプ場整備完成（寝屋川市）
- 立地適正化計画・居住誘導：居住誘導区域見直し及び防災指針策定（高槻市・八尾市）
- 避難確保計画策定支援：要配慮者利用施設の避難確保計画策定（枚方市内の施設）
- ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練　等：多機関連携型タイムライン（淀川広域）の策定・コミュニティタイムラインの策定支援（高槻市）、SOS避難メソッド等を掲載した防災ブック作成（摂津市）（R3完）
- 広域アクションプラン（ゲリラ豪雨対策）：局地的豪雨探知システムの利活用促進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定（環境省）

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】
～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

R6.3更新（2.0策定）

赤字黄色ハッチ：流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所
※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 長期
グリーンインフラの取組	干潟再生	近畿地方整備局	試験施工		
	ヨシ原保全･再生	近畿地方整備局	ヨシ原保全･再生		
	ワンド保全･再生	近畿地方整備局	ワンド保全･再生		
	生物の生息･生育環境の保全再生	近畿地方整備局	生物の生息･生育環境の保全再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	淀川河川敷十三エリアかわまちづくり	近畿地方整備局	淀川河川敷十三エリアかわまちづくり		
	淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり	近畿地方整備局	淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり		
	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全	近畿地方整備局	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局･大阪府	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局	住民団体と連携した水生生物調査の実施		
	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール	近畿地方整備局	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール		
	住民と連携した外来生物駆除	近畿地方整備局	住民と連携した外来生物駆除		
	環境に配慮した水位操作	近畿地方整備局	環境に配慮した水位操作		
	寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み	近畿地方整備局･大阪府･寝屋川流域市（12市）	寝屋川流域水環境改善計画による水環境改善の取組み		
	公園等憩いの場としての活用	大阪府	公園等憩いの場としての活用（治水緑地等）		
	街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入	大阪府	街路樹の更新にあわせた雨水貯留機能等の導入		

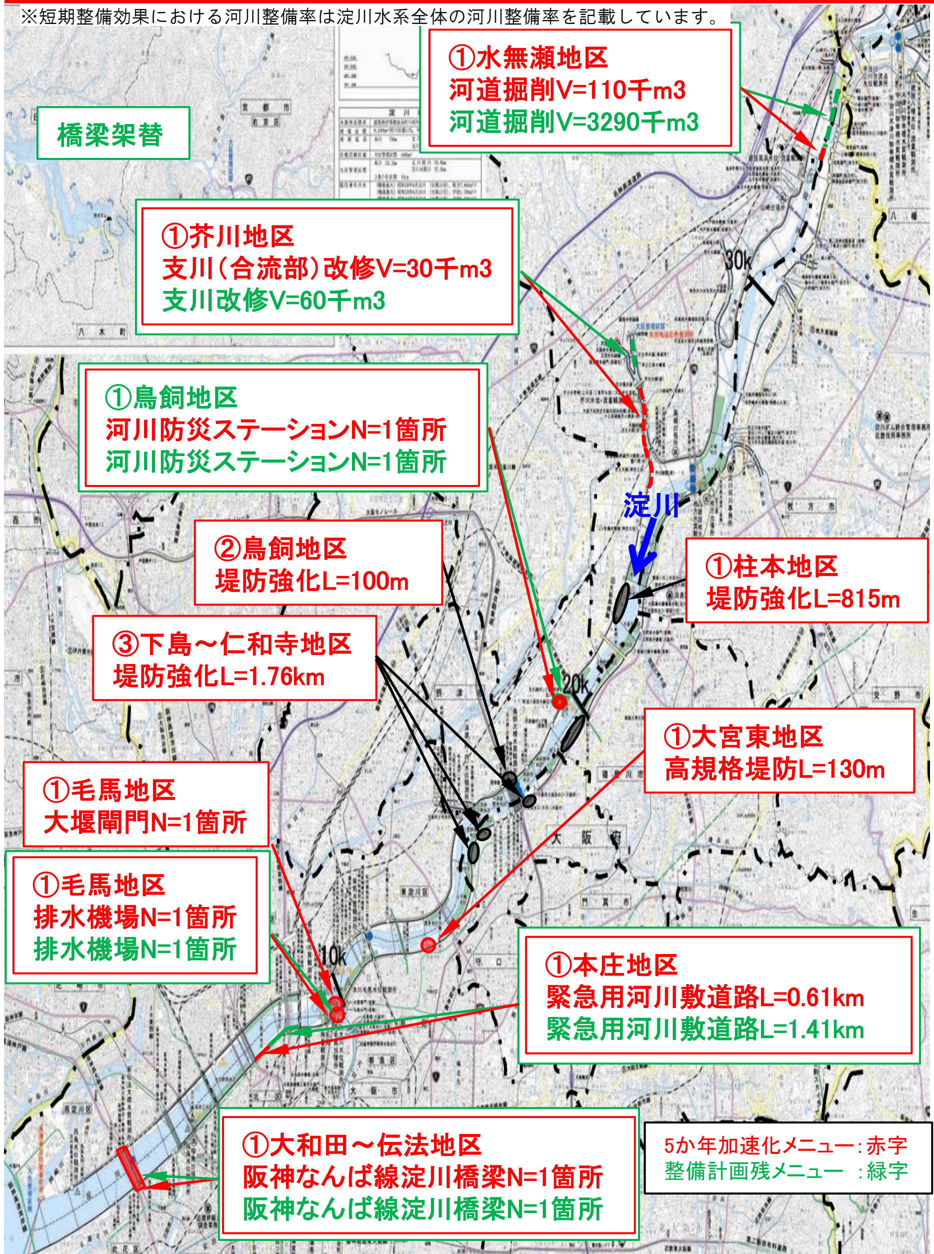
気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

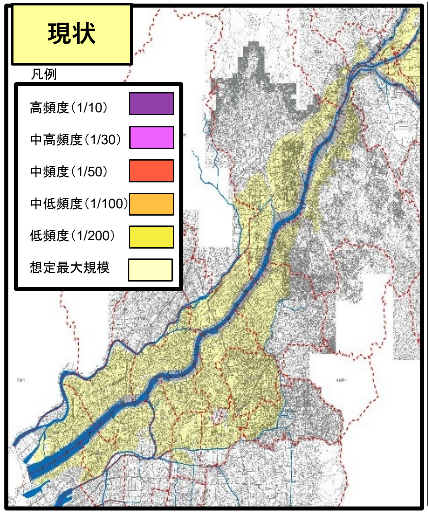
淀川水系流域治水プロジェクト　淀川（大阪府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】
～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

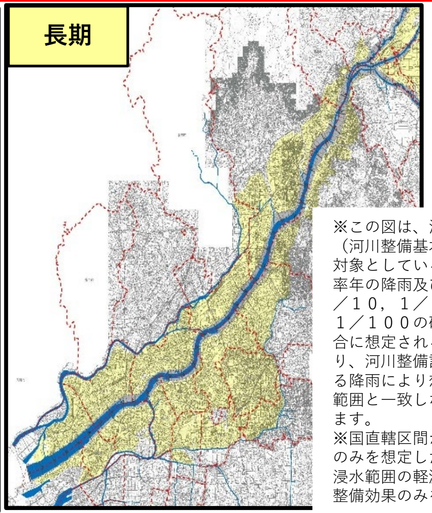
短期整備（５か年加速化対策）効果　：　河川整備率　約68％→約77％

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。



淀川大堰閘門整備を大阪・関西万博（R7）前のR6までに完了させることで、防災力を向上させるとともに、舟運により地域振興に寄与。





※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている１／２００確率年の降雨及びその降雨を１／１０，１／３０，１／５０，１／１００の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合があります。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

区分	対策内容	区間	工程 短期（R2~R7年）	工程 中期（R8~R15年）	工程 長期（R16~R34年）
関連事業			R4		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	①水無瀬地区	3%		100%
	支川改修	①芥川地区	30%	100%	
	堤防強化	①柱本地区	100%		
		②鳥飼地区	100%		
		③下島～仁和寺地区	100%		
	河川防災ステーション	①摂津地区	50%	100%	
	高規格堤防	①大宮東地区	100%		
	大堰閘門	①毛馬地区	100%		
	排水機場	①毛馬地区	8%		100%
	緊急用河川敷道路	①本庄地区	30%	100%	
	阪神なんば線橋梁	①大和田～伝法地区	60%	100%	
	橋梁架替				100%

【短期整備完了時の進捗】
河道掘削
①水無瀬地区　3%
支川改修
①芥川地区　30%
河川防災ステーション
①摂津地区　50%
高規格堤防
①大宮東地区　100%
大堰閘門
①毛馬地区　100%
排水機場
①毛馬地区　8%
緊急用河川敷道路
①本庄地区　30%
阪神なんば線橋梁
①大和田～伝法地区　60%

※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

淀川水系流域治水プロジェクト　淀川（大阪府域）分会【流域治水の具体的な取組】

～澪輝く関西経済圏を支える流域対策～

R6.3更新（2.0策定）

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）	農地・農業用施設の活用	流出抑制対策の実施	山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策	立地適正化計画における防災指針の作成	避難のためのハザード情報の整備	高齢者等避難の実効性の確保
整備率：７７％ （概ね５か年後）	５１市町村 （令和５年度末時点）	２３８施設 （令和４年度実施分）	治山対策等の実施箇所 ５４箇所 （令和５年度実施分） 砂防関係施設の整備数 ５施設 （令和５年度完成分） ※施行中　７８施設	１２市町村 （令和５年７月末時点）	洪水浸水想定区域 ２６８河川 （令和５年９月末時点） 内水浸水想定区域 １２団体 （令和５年９月末時点）	避難確保計画 洪水 14,904施設 土砂 966施設 （令和５年９月末時点） 個別避難計画 49市町村 （令和５年1月1日時点）

※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。

氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策

河川・下水道などにおける対策（寝屋川流域）

　河川、下水道等が一体となった治水対策を実施しており、地下河川、下水道増補幹線、遊水池、調整池等の整備を推進。

【令和4年度の主な実績】

- 寝屋川北部地下河川　　城北立坑築造
- 恩智川（法善寺）多目的遊水池　　池床掘削、管理橋上部工
- 布施公園調節池　　躯体築造工
- 加納元町調節池　　Ⅰ期発進立坑築造
- 門真守口増補幹線　　シールドエ
- 新岸田堂幹線　　シールドエ（東大阪市施工）
- 流域貯留浸透施設の整備（4市4校1公園）
- ため池の治水活用（八尾市）

寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事

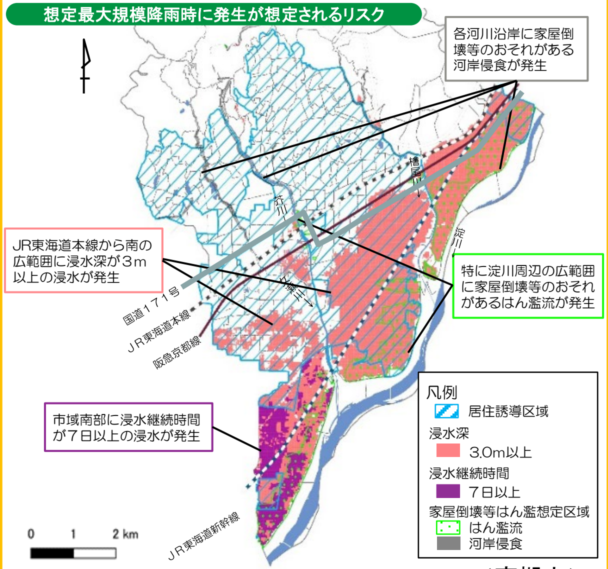
加納元町調節池（Ⅰ期）

＜大阪府＞

被害対象を減少させるための対策

居住誘導区域見直し及び防災指針の策定

平成29年3月に策定した高槻市立地適正化計画の居住誘導区域は災害リスクを踏まえ設定しているが、昨今の頻発化・激甚化する自然災害への対応や法改正の主旨を踏まえ、水害リスクについて、居住誘導区域を見直すとともに、防災指針を追加する変更を行う。



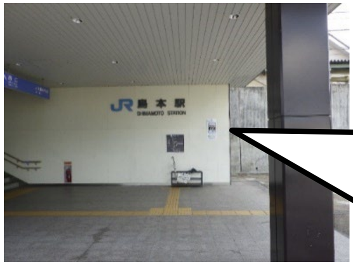
＜高槻市＞

被害の軽減、早期の復旧･復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップの増設

平成30年3月に阪急水無瀬駅に設置したまるごとまちごとハザードマップを令和2年11月にJR島本駅、町立第三小学校、同第四小学校、同第一中学校に増設。

浸水深4．6m第四小学校正門



浸水深2．2mJR島本駅東口

＜島本町＞